

(特非) ザ・ピープル

福島県いわき市・広野町を中心とする学校教育現場等での環境保全型農法による綿花栽培を通した環境教育の実践と産業化に向けた整備事業 STEP2

イベントの 延べ参加者数	3,634 人
コットン栽培学校 数の前年度比率	258%
活動の全体目標 に対する達成度	60%



太平洋・島サミットの様子 1

◆成果と工夫したポイント

- 成果** いわき市内における 30 校の小中学校での栽培を通して、1,000 名を超える子供たちが、コットンと接する機会を持つことができた。教材として児童生徒と指導者用のマニュアルが作成できたことで、学びの幅を膨らませることができた。
- 工夫** コットン栽培校での教員の聞き取りを下に、教材の編集を実施。遠隔地の学校の要望に応え、DVD 作成も行った。

課 題

福島県いわき市と広野町をはじめとする、双葉郡における震災から 5 年を経過しても解決できない地域課題。地域コミュニティの混乱、風評被害の固定化、震災体験の風化など。

活動内容

震災後開始した綿花栽培による環境保全型農業のモデル事業の推進の中でも、学校教育の現場などで、身近な衣服の素材を自ら栽培することによる、環境・産業・復興を結びつけた教育プログラムなどの整備と、福島県浜通りでのコットン栽培の拡大化・安定化・事業の産業化に向けた取り組みの促進。さらに、それらを通した避難者・帰還者の自立化・避難先コミュニティとの融和を重点目標として事業を展開してきた。



太平洋・島サミットの様子 2

今後の課題

今年度は太平洋・島サミット関連事業として、栽培校が急増したが、この規模での栽培を維持することは困難になるものとみられる。地域内外の教育機関で関心を維持するための手法を考える必要がある。